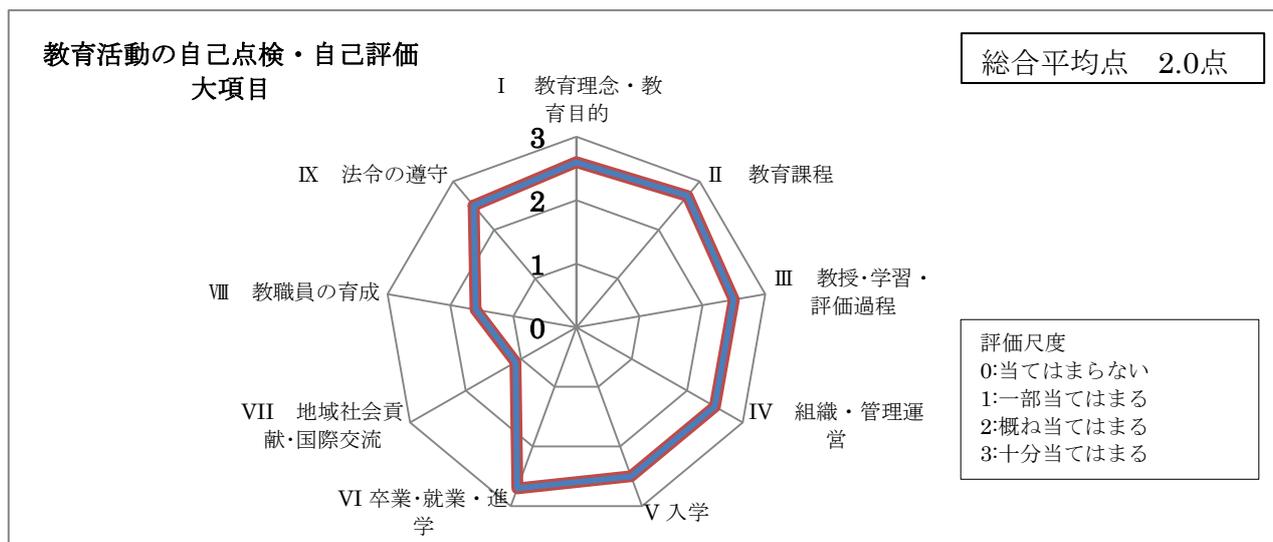


平成 29 年度 自己点検・自己評価結果 (平成 30 年 3 月実施)

JCHO 東京山手メディカルセンター附属看護専門学校



当校では、平成 26 年度より自己点検・自己評価の機能を強化し、教育の質の向上を図り、学校の設置目的の達成のため、「東京山手メディカルセンター附属看護専門学校における学校評価に関する要綱」を独自に制定し組織的に取り組んでいた。今年度は、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下 JCHO）の 7 看護専門学校において、共通した学校評価ガイドラインの策定に向けての取り組みが始まりつつあり、それには当校独自の評価項目とは多少の違いがある。具体的には、JCHO の使命という特徴を評価内容に加味した文言で表現されているなどが挙げられる。今年度は、検討中ではあるが JCHO 看護学校の自己評価表（案）に基づき自己点検・自己評価を実施した。その結果について公表する。本校の教育活動その他の運営状況について客観的に評価を行い、よい面はさらに伸ばし、また改善すべき点は明確にして、看護教育活動の向上を目指し努力し続ける学校でありたいと願っている。

平成 29 年度の総合評価の平均点は 2.3 点で、評価尺度に照らしてみると「概ね当てはまっている」であった。

カテゴリー	分析・課題
I 教育理念・教育目的 2.6 点	教育理念・教育目的に基づいた学年別学級運営方針を年度初めに明示している。また、地域医療機能推進機構の理念でもある地域医療、地域包括ケアの担い手として社会のニーズに対応できる看護実践者の育成を目指すことを掲げている。 今後は組織を意識し、教育過程全体にいき渡るようにしていく。
II 教育課程 2.7 点	毎年見直しを行い、よりよい教育となるよう検討している。また、教員同士が互いに学び合う環境として学校全体での体制づくりが重要と考えている。具体的には指導案の検討をし、教授内容の共通認識をするとともに、担当を超えて学ぶことができるようにしている。今後は、公開授業等に取り組みたい。また引き続き学生による授業評価が効果的にフィードバックできるよう、データ分析の方法の検討や活用方法について検討していく。

<p>III 教授・学習・評価過程 2.5 点</p>	<p>講義と実習が連動するように配慮し、効果的に教育をすすめている。また、学生からの授業評価と教師相互の授業評価を行うことで、講義の質向上に取り組んでいる。今後、さらにシラバスの内容を充実・改善することで学習の動機づけを行っていきたい。</p>
<p>IV 組織・管理運営 2.5 点</p>	<p>学生が学習継続をできる環境を整える事を重点課題に取り組んだ。学生個々と担当教師の連携を密にし、学習に関して個別に支援を行った。また、精神的なサポートとして、学生カウンセラーの協力を得て支援できる体制をとっている。また、定期的な保護者懇談会の開催、電話連絡など、学校－保護者間で連携しながら学習支援体制を強化した。</p>
<p>V 入学 2.5 点</p>	<p>入学生確保については、学校訪問、広報活動の増強、入試方法の改定により定員維持を達成している。ここ数年願書の請求数は増加傾向にあるが、来年度は、願書請求者がオープンキャンパス来校や受験者につながる取り組みに力を入れたい。</p>
<p>VI 卒業・就業・進学 2.7 点</p>	<p>就職に関しては母体病院への就職率が 85% となっており、昨年度より増加した。jcho 地区事務所の方の説明も功を奏し田と考える。今後も、母体病院への就職を中心として、卒業生の個性にあわせて就職支援に取り組みたい。</p>
<p>VII 地域社会貢献・国際交流 1.1 点</p>	<p>3カ年を通して、ボランティア活動への参加を推奨して支援もしている。しかし、地域のニーズに応えたり、環境改善など地域の活動や国際交流等に参加する機会を得て、今後地域社会での活動の場をより広げていきたい。</p>
<p>VIII 教職員の育成 1.6 点</p>	<p>質の高い教育のためには、教職員のための研修を充実させていくことが重要である。また、教職員相互の支援体制を整え、研究時間を確保していく必要がある。さらに、教員が研修に参加しやすい環境や指導體制を充実させていきたい。外部での研修や学会等での学びを共有できる場を確保する工夫をしていきたい。</p>
<p>IX 法令の遵守 2.5 点</p>	<p>関係法令や看護学校設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評価、等の項目において達成できている。学校運営に必要な規則規定等を整備し、教職員や学生に周知することで安全で安定した教育を実施できるように努力をしている。29年度は東京都の指導調査を受けており、関係法令に基づき適正に運営し、申請・届け出事項をほぼ遵守していると評価できる。今後は学校評価について内容を充実させていきたい。学校関係者意見交換等に取り組みたい</p>